

(関わり合い 認め合い 高め合う 六葛西の子)



平成23年4月18日(月)

No.3

江戸川区立第六葛西小学校
校長 伊藤 辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510

メールアドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

1年生の給食が始まりました



(緊張した顔の給食当番)

サラダ、牛乳」でした。

先生を入れて36~7人に配るのですから配膳係も足りなくならないように加減しての盛りつけが大変です。初めての配膳にしてはどのクラスもうまくいきました。配膳する子ももらう子も、先生の「おしゃべりなしですよ。シー〜」をよく守って行儀はとてよく、短時間で配膳が終了しました。

バックの牛乳は初めての子も多く、飲み口のあけ方やストローの使い方などを聞いてから、先生の「いただきましょう」の合図で、みんなが「いただきます」。1年生のどの教室も初めての学校での給食を楽しんでいる子どもたちの様子がうかがえた初日でした。

「校長先生、給食美味しかったよ」「ほくね、お代わりをいっぱいしたよ」子どもたちの感想です。

本校の給食は、子どもたちからとても楽しみにされています。栄養士さんと調理師さんの呼吸もぴったしで、「安全でおいしい給食づくり」をモットーに毎日の給食が作られています。「青空給食」「バイキング給食」など、行事給食も多彩です。

8日から給食は始まっていましたが、1年生は12日(火)から給食が始まりました。配り係は、帽子に白衣にマスクをつけて緊張した面持ちで配膳台の前に陣取ります。受け取りは、順番に並んでお盆や食器を受け取り、こぼしたりしないようにしずしずと進みます。

初日のメニューは、「ホットドッグ、ホワイトシチュー、りんごときゃべつの



(「おいしいで〜す」初めての給食)

大震災被災者へ支援を

東日本大震災から1ヶ月以上が経過しましたが、強い余震が続き、子どもたちも不安を感じながらも毎日の学校生活を活発に展開しています。

本日付の「東日本大震災支援募金について」の依頼文にあるように、代表委員会が募金活動を進めることになりました。子どもたちは、日々知らされる現地の状況に、「自分たちができることは何か」を考え、募金活動を取り組もうと決めました。18日の全校朝会で代表委員会から、19日(火)から23日(土)までの期間、募金活動を進めることが訴えられました。

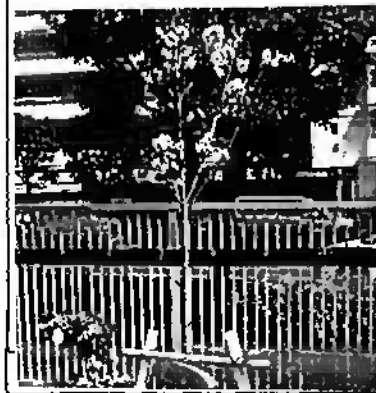
各ご家庭におかれましてもこの間様々な支援を取り組まれていただいたことと思います。学校としても、3月に卒業した6年生にランドセルの提供を呼びかけたところ、51個のランドセルが寄せられました。また、昨年トンボ鉛筆株式会社から、ネパールと本校の子どもたちに、と約18000本ほどの未使用の鉛筆を寄贈していただきましたが、そのうち14000本ほどを12月の第6次ネパール訪問団が現地の学校にプレゼントしました。残り約4000本は本校の子どもたちのために活用しようと保管しておいたものですが、文房具が極端に不足している現地に、この4000本を提供することにしました。ランドセルと鉛筆は、ライオンズクラブの協力を得て現地に届けられました。

このたびは子どもたちの行動です。同じ年代の子どもたちが困難と闘っていることに思いを馳せて、この代表委員会の呼びかけをご家庭でも話していただき協力をお願いします。



(寄贈したランドセルの一部)

3月に卒業した6年生が記念植樹した『紅豊』(八重桜)がきれいな花を咲かせました



土曜授業が始まります

学校だより「六かさい」や保護者会でご説明しましたが、「土曜授業」が始まります。4月23日(土)は、授業日です。

江戸川区では、確かな学力の定着を図るための授業時数の確保、授業を広く公開するため、またセーフティ教室の開催や保護者や地域の方をゲストティーチャーを招いての授業などに当てるため、「土曜授業」を実施することにしています。

23日(土)は、午前授業となります。3時間学習して下校します。今回の「土曜授業」は、振替休業日はありませんので、月曜日は授業日となりますのでご注意ください。

『大変お世話になりました』

15日(金)、この3月で本校を去られた先生や主事さん方のお別れの会「離任式」が実施されました。

「離任式」には、中村太朗先生、山崎依子先生、志水 洋先生、葛田活由先生、鈴木美津子用務主事さん、折笠恵美子先生、中里淳子先生、がお出でくださいました。仲矢優子先生、佐々木朋子先生、大村純子先生は、仕事上のご都合で出席できませんでした。

子どもたちからは、先生や主事さんとの思い出を綴ったお別れのお手紙と花束がプレゼントされ、別れを惜しみました。

先生や主事さんから、「校歌にある、たくましく胸はって、仲良く未来をひらく、そんなろくっこになってください」

「東日本では家も人も流されてしまいました。幸い皆さんにはそんなことはなかった。花のように小さな命も自分の命も大切にしてください」

「一生懸命に取り組んでいる姿、頑張っている時の顔が素敵でした」などのご挨拶もいただきました。

「ありがとうございました。さようなら。」の感謝の心が体育館にいっぱいになった「離任式」になりました。



家庭での学びの習慣化を

『家庭学習週間』 ～22日まで

新しい学年での学習が本格的に始まりました。子どもたちの学力向上にとって、学校での学習をしっかりやることは当然のことですが、家庭学習はその定着度を高めるためになくはない学習活動です。新学期が始まったばかりで意欲満々のこの期間を活用して「家庭学習の習慣化」を図るための「強化週間」として、子どもたちへの働きかける重点的な取り組みを進めています。期間は、11日から22日までの2週間です。

家庭学習は、できるだけ時間を決めて毎日継続することが大切です。そのためには、なんといっても大人が協力してあげることが大事です。担任からは毎日家庭学習の課題が出されています。それをやりあげることや自分で課題を設定して取り組むことも大事です。低学年や学習に苦手意識を持ったお子さんには一緒になって取り組んであげてください。

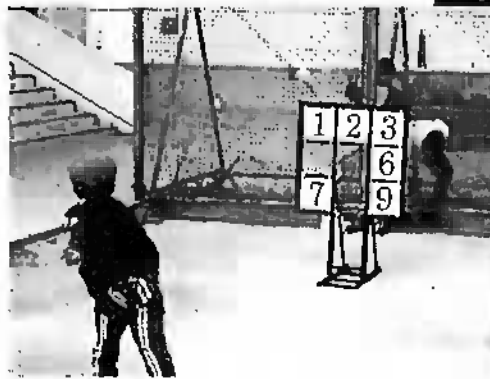
子どもと一緒に学校で遊ぼう

『新入学の保護者歓迎会』PTA・六雄会

10日(日)、PTA及び六雄会恒例の「新入学の保護者を歓迎する会」が開催されました。当日は良い天気めぐまれ、10時から2時まで校庭で親子で交流しました。新1年生の保護者の方も40家族ほど参加していただきました。ありがとうございました。

今回は、ペーゴマ「昔遊び」やフラフープ、「ストラックアウト」や校庭の遊具やサッカーゴールを使っての遊びなど、誰でも参加できるイベントが中心でした。

昼食は、六雄会自慢の「流しソーメン」。行列ができ、流すのが待ち切れないほどでした。子どもたちは、楽しそうに流れてくるソーメンを追いかけしていました。



玄関に五月人形が飾られました

